

★先の方へ～解答欄の①～④は、問題結果表の質問番号に対応しています。

1 (1)

(2)

2

バスは9時6分、12分、**18分**、24分、30分、**36分**・・・に出発します。
 列車は9時9分、**18分**、27分、**36分**・・・に出発します。
 このように、同時に出発する時間18、36・・・は6と9の公倍数です。

3

4

5 (1) (例)
 アとイの面積は等しく、ウとエの面積も等しいです。オは、アとウを合わせた図形で、カは、イとエを合わせた図形です。同じ面積の図形を合わせているので、オとカの面積は等しくなります。

- ①アとイ、ウとエの面積がそれぞれ等しいこと
- ②オがアとウ、カがイとエをそれぞれ合わせた図形であること
- ③同じ面積の図形を合わせているので、オとカの面積が等しいことのうち、①、②、③の全てまたは①、②が書かれていれば正解です。

(2)

6 (1)

(2)

単位量あたりの大きさをそろえて、比較します。

(自動車A)
 道のり 0 ×20 → 170 (km)
 ガソリンの量 0 1 ×20 → 20 (L) □×20=170
 □=170÷20
 □=8.5 (km)

(自動車B)
 道のり 0 ×24 → 192 (km)
 ガソリンの量 0 1 ×24 → 24 (L) □×24=192
 □=192÷24
 □=8 (km)

7 (例)
 7m20cmをこえた部分の平均を求めます。
 $(32+11+34+0+23) \div 5 = 20$
 もとにした7m20cmに、求めた平均の20cmをたします。車が進んだきよりの平均は、7m40cmです。

① それぞれの記録と7m20cmとの差を求め、平均を $(32+11+34+0+23) \div 5 = 20$ と求めること
 ② きじゅんとした7m20cmに、求めた平均の20cmをたすと、車が進んだきよりの平均が、7m40cmになること
 の2つのことがらが書かれていれば正解です。

5回の記録のうち、最も少ない4回目の7m20cmを基準とすると、計算が簡単になります。
 グラフで見ると、の部分でならしたことになります。